

# 松山大学法学部学術研究会

演題：「トクヴィルと日本—福沢諭吉と丸山眞男はどう読んだか」

講師：松本 礼二氏（早稲田大学名誉教授）

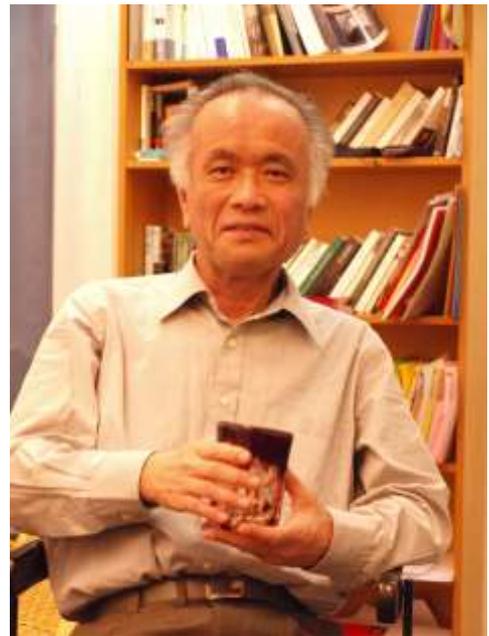
## 講演概要

トクヴィル研究で著名な松本礼二教授をお迎えし、福沢諭吉や丸山眞男がトクヴィルをどう読んだのかという観点から、トクヴィルが日本にどのように受容されたのかという問題を考える機会としたい。

参考文献：

- Reiji Matsumoto, “Tocqueville and ‘Democracy in Japan’”, (ed.) C. D. Henderson, *Tocqueville’s Voyages: The Evolution of His Ideas and Their Journey Beyond His Time*, Indianapolis: Liberty Fund, 2014.
- Reiji Matsumoto, “Fukuzawa Yukichi and Maruyama Masao: Two ‘Liberal’ Readings of Tocqueville in Japan”, *The Tocqueville Review*, Vol. 38 Nr. 1 (2017)

コーディネーター：松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：松本 礼二氏の経歴

1946年 東京生まれ

東京大学法学部卒業、同社会科学研究所助手、早稲田大学教育学部講師、同助教授、同教授を経て、現在—早稲田大学名誉教授

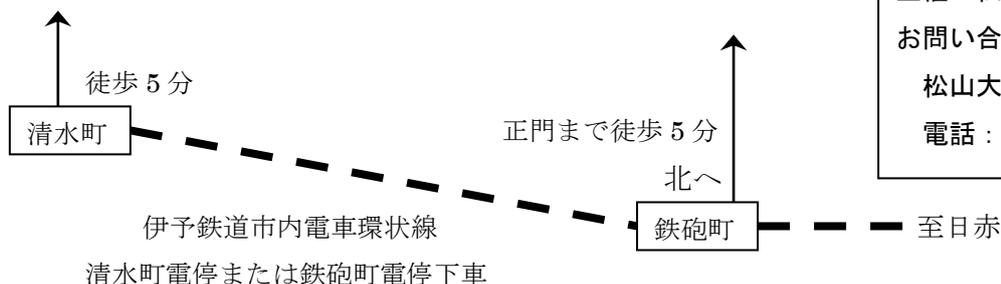
著書—『トクヴィルで考える』（みすず書房）、『トクヴィル研究』（東大出版会）他  
訳書—『アメリカのデモクラシー』（岩波文庫）

日時：2017年 **12月7日(木)**

**14:15～15:45**

入場無料・参加自由

場所：松山大学 樋又キャンパス **H2E 教室**



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）